



年始の風物詩「とんど」。竹で大きな櫓を組み、正月飾りや書初めなどをとんどの火でお焚き上げします。正月に迎えた歳神様をお送りする意味もあり、家内安全や一年の無事を祈る祭事です。書初めを一緒に燃やし、炎が高く燃え上がると書いた抱負が叶い、書道が上達するともいわれているそうです。今年も安佐南区中筋・東野地区のとんど祭りへ行ってきました。



前日 山から切った竹で作られた10メートルの櫓



皆が書いた書初めと、会社の正月飾りで使った門松もしっかりお焚き上げ。

会場では地域の方々による、ぜんざいや豚汁がふるまわれました。気持ちのこもった美味しいおもてなしで、心も体もあたたまりました。大人たちは、竹ごと火にかけた熱燗で乾杯！



営業の甲斐さんは、消防団として毎年とんどに参加しています。放水デモンストレーションや消火器を使った消火体験で、子どもたちや地域の方々に火災予防への意識を高めてもらいました。

### 1、たばこの不始末

「消したつもり」「消えたはず」がとんだ大火災につながります。とくに、飲酒後に就寝する際の寝たばこには注意しましょう。

### 2、ガスコンロの使用

台所コンロから出火する火災が急増しています。てんぷらなどを揚げている、その場を離れる時は必ず火を消してからにしましょう。

### 3、放火被害

もっとも多い火災原因が「放火・放火の疑い」によるものです。家の周りには燃えやすいものを置かない。ゴミは指定日の決められた時間に出すようにしましょう。

## 火災予防 3つのポイント



## ワカバ ふしぎ発見！

自社工場や配送センターを持つワカバでは社員でも知らない不思議なものがあります。ワカバの『なんじゃこりゃ？』や『へえそうだったのか!!』という“もの”や“場所”を紹介します。

今回は《本社事務所》から。

事務所に入ると、机の上に格子状に張られた水色の骨組みに等間隔で蛍光灯がついているのが目に入ります。さらに所々から机のパソコンに向かって線が伸びているような…。『なんじゃこりゃ？』事務所というよりはまるで工場のような。



実はこれ配線なんです。蛍光灯だけでなく、パソコンや電話の配線も兼ねています。配線に詳しい方が来社された際「最近になって事務所でも配線を足元から天井にしているケースを見ますが、何十年も前からこのスタイルにされているのは珍しいですね。」とお話をされたことがありました。

もともと現在の事務所は、かつて縫製工場としてミシンがズラリと並んでいました。作業内容によりミシンの配置を自由にでき、安全性を高めるために足元の配線を無くし、上側から電源と照明を確保するつくりとなったそうです。後に事務所として使用する際、格子状に張られていることもあり、パソコンや電話回線の設置時にそのまま使ったということだそうです。本社事務所はワカバの歴史を今に伝えるふしぎスポットでした。



総務部 藤村昭夫

## サラリーマン川柳に挑戦

サラリーマン川柳に挑戦しよう!を目標に、ワカバのサラリーマンが川柳を詠みます。

『昨年11月22日に初孫が生まれました。初孫はかわいいと言いますが、想像していた以上で毎日癒されています。産後の里帰り約2ヶ月一緒に居ますが、そろそろ自分の家に帰ると言っているのが悩みの今日この頃です。』

まだ若い

思っている

じいちゃんに



営業部  
川柳

大泉逸郎さんの「孫」という歌がありますが、まさにその歌詞通りなんではないでしょうか。お孫さんの成長が楽しみです。(ワカバ新聞係)